

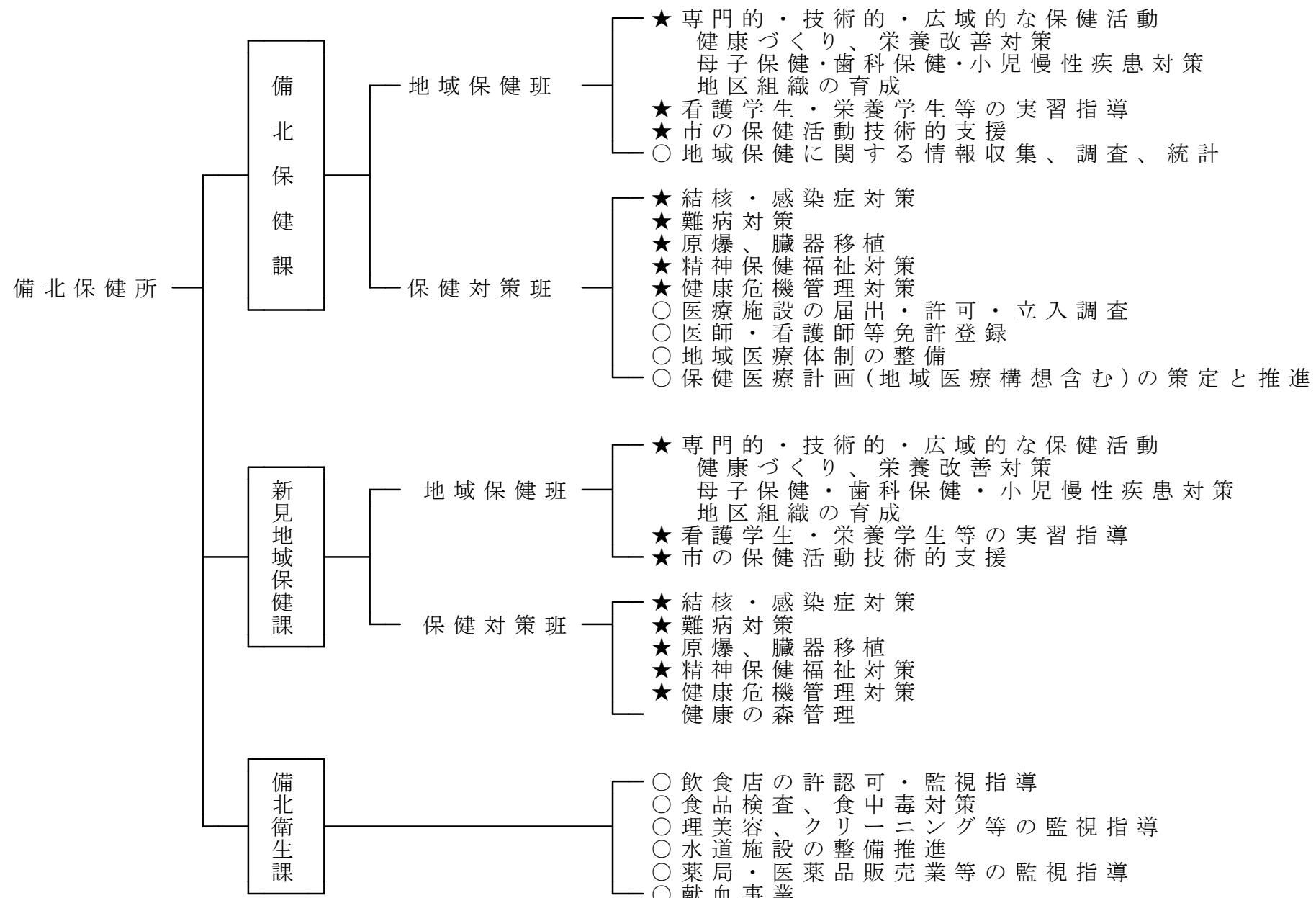
令和7年度 備北保健所運営協議会資料

令和7年10月23日（木）
岡山県備北保健所

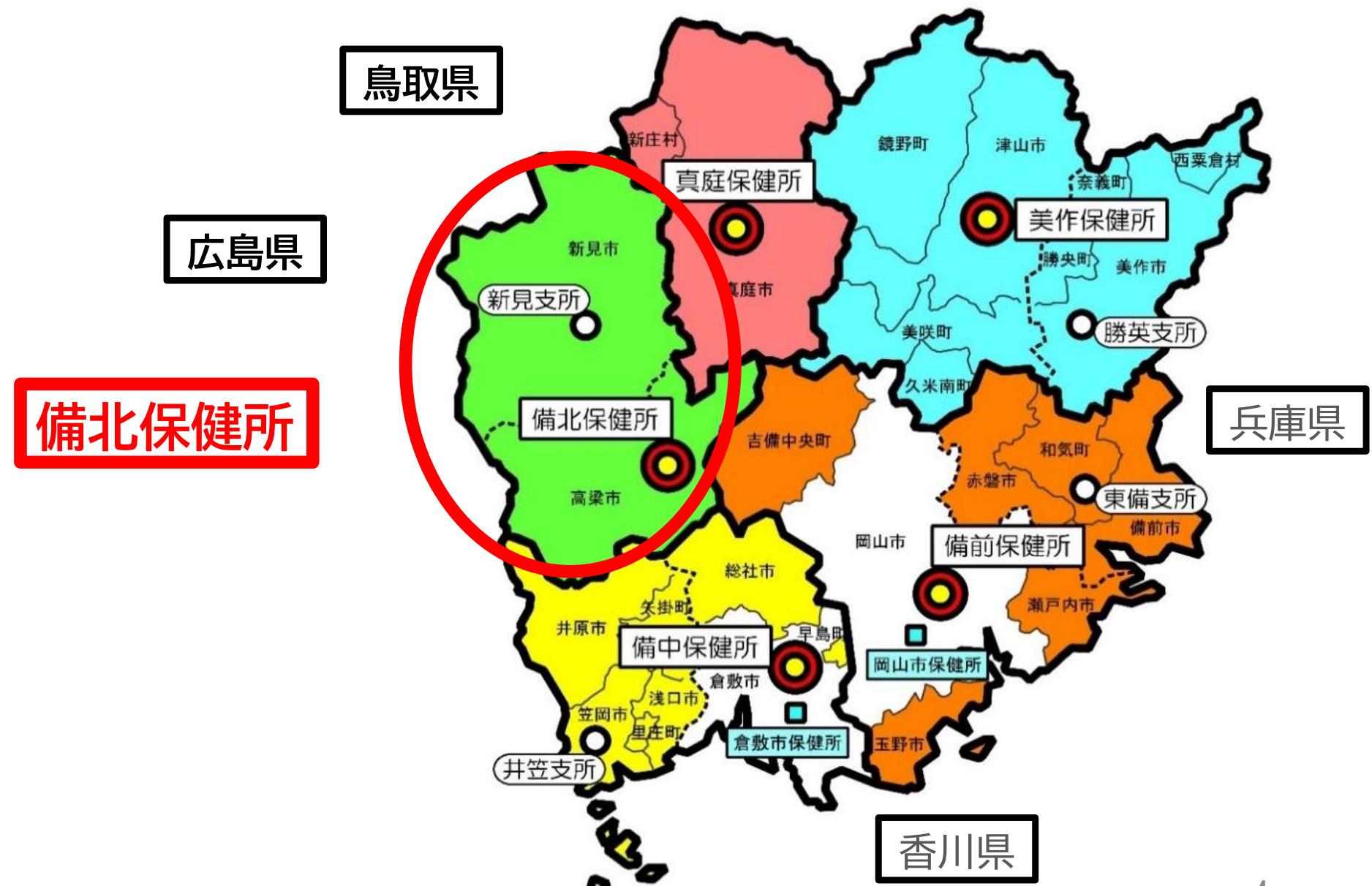
目 次

○備北保健所の組織	3
○管内概況	4
○重点施策	13
1 地域における医療提供体制の整備 (地域包括ケアシステムの深化・推進)	15
2 心と体の健康づくりの推進 (障害のある人に対する支援)	22
3 子ども・子育て支援の充実強化 (切れ目のない母子保健の推進)	36
4 生活衛生及び医薬安全対策の推進等	43

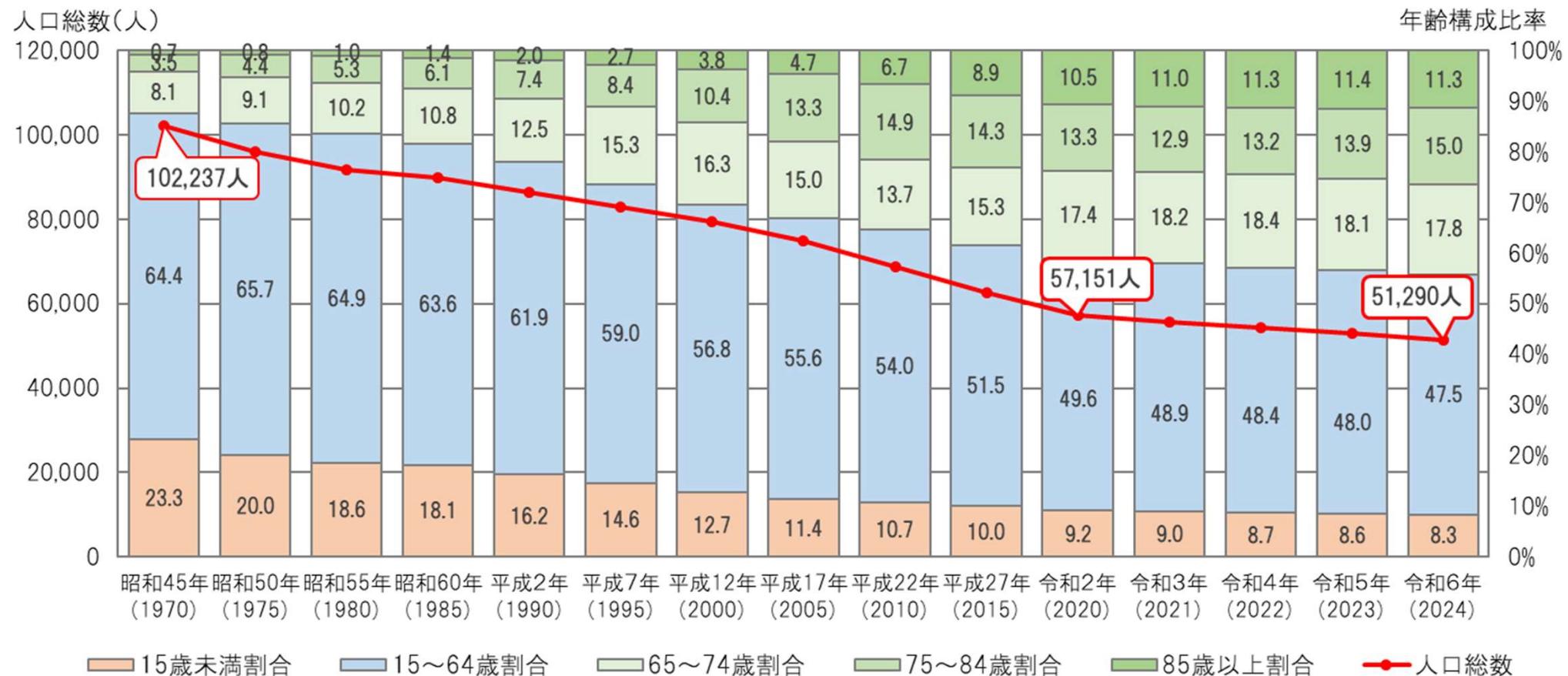
備北保健所の組織



管内の概況



(1)管内の人団推移及び年齢構成割合 (年齢5区分)

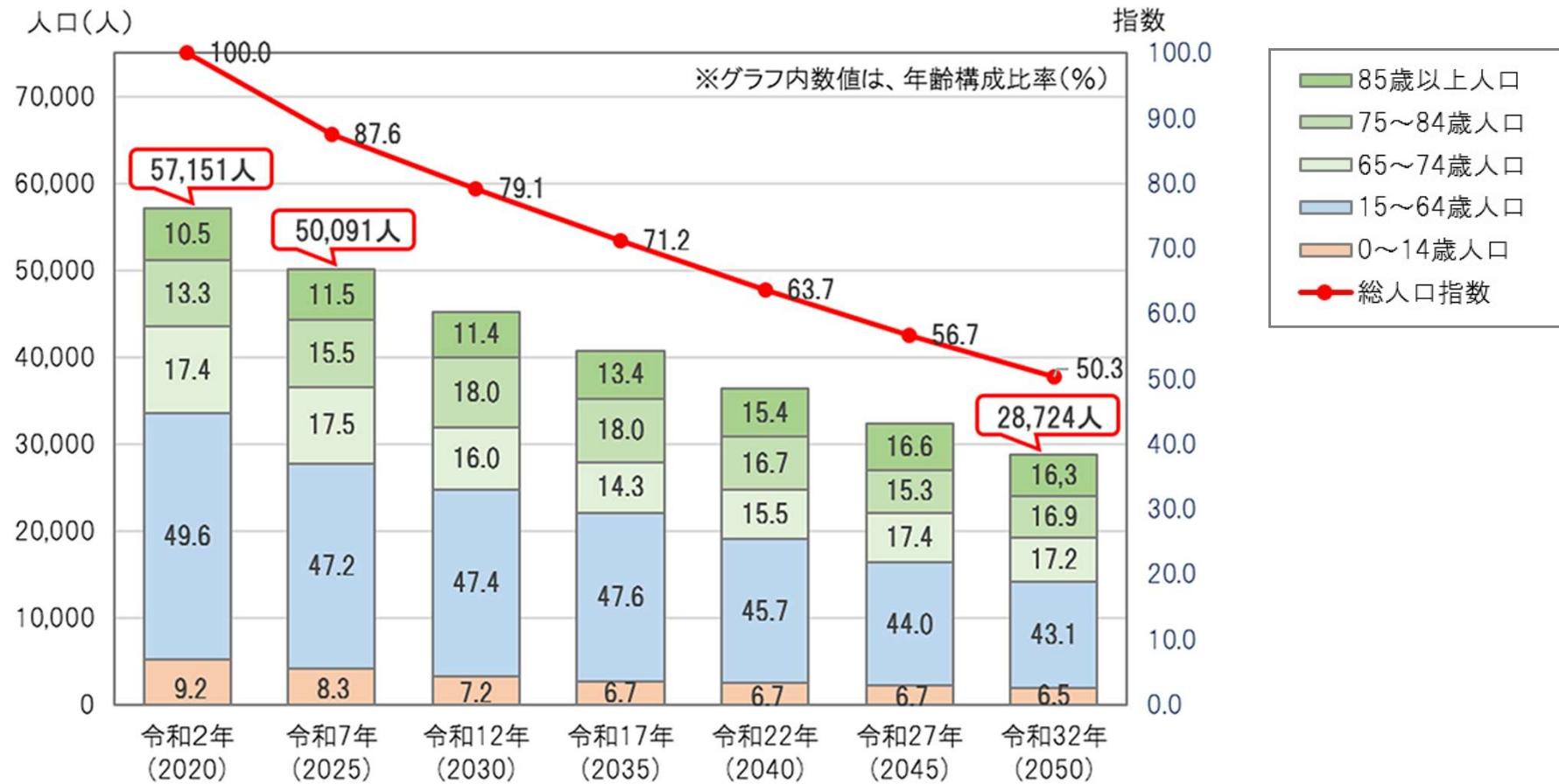


資料：総務省統計局「国勢調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」

(注) 人口総数は、年齢不詳を含んでいるため年齢別人口の計とは合致しない。

(注) 年齢構成比率は、分母から年齢不詳を除いて算出している。

(2)管内の将来推計人口及び指數(令和2(2020)年を100とした場合)



資料：総務省統計局「国勢調査」

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別推計人口」(令和5(2023)年3月推計)

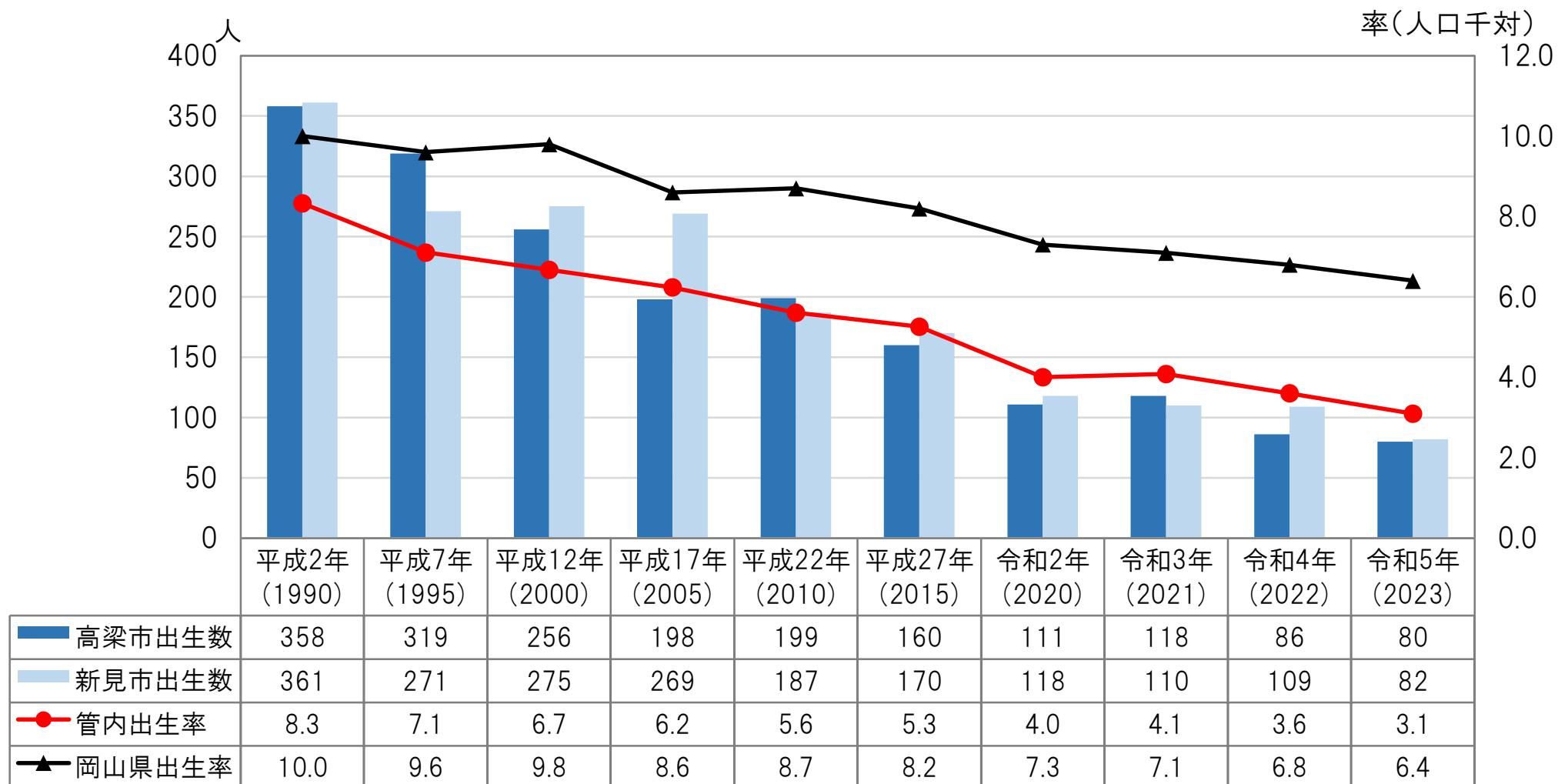
(注) 令和2(2020)年の人口は、国勢調査の年齢、国籍、配偶者関係の不詳を補完した参考表の数値を用いているため、国勢調査の年齢構成比率とは一致しない。

【参考】

		15歳未満割合	15～64歳割合	65～74歳割合	75～84歳割合	85歳以上割合	(再掲)65歳以上割合
令和2年 (2020)	管 内	9.2	49.6	17.4	13.3	10.5	41.2
	全 国	11.9	59.5	13.8	9.9	4.9	28.6
	岡 山 県	12.4	57.3	14.2	10.4	5.7	30.3

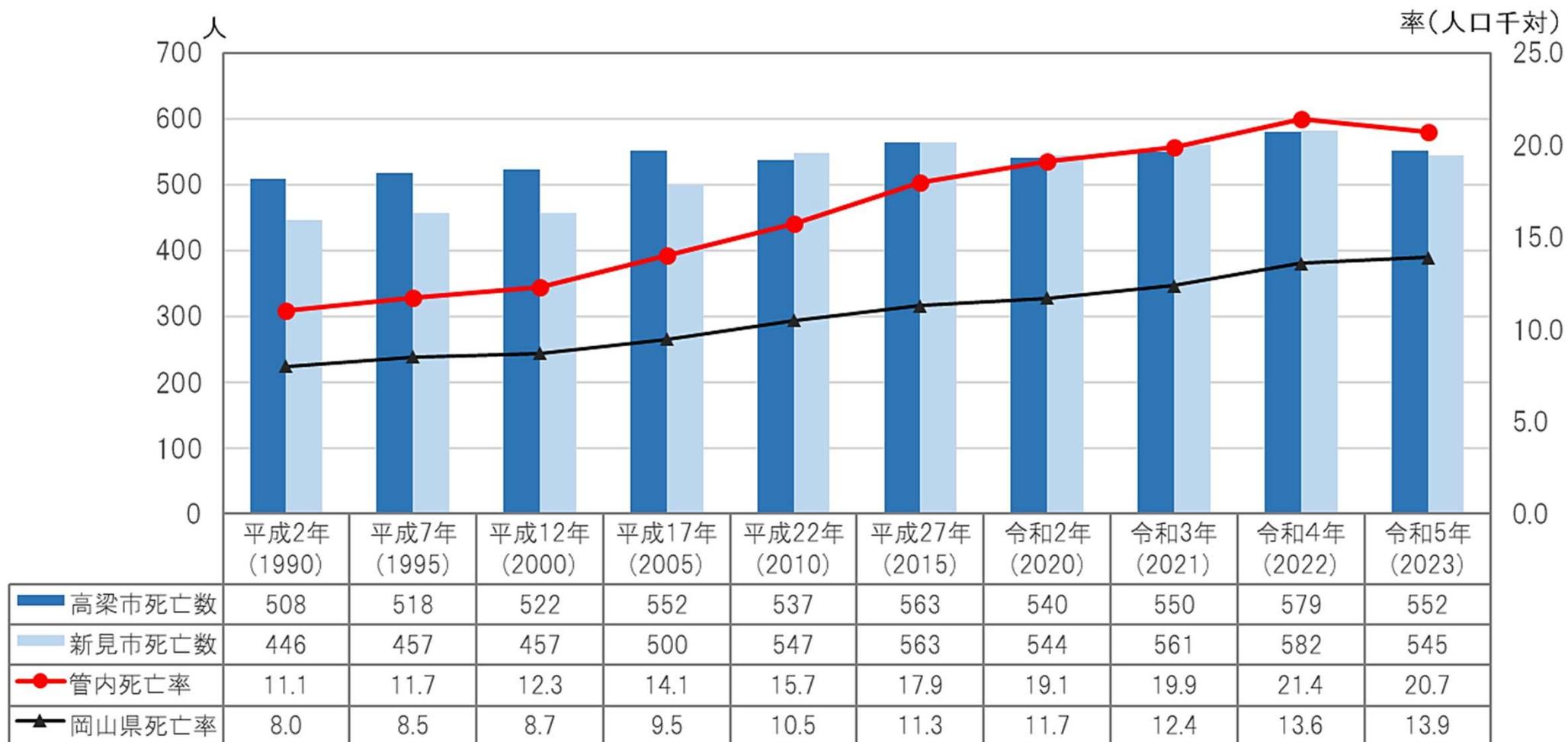
		15歳未満割合	15～64歳割合	65～74歳割合	75～84歳割合	85歳以上割合	(再掲)65歳以上割合	総人口指數(R2=100)
令和32年 (2050)	管 内	6.5	43.1	17.2	16.9	16.3	50.4	50.3
	全 国	9.9	52.9	13.9	14.1	9.2	37.2	83.0
	岡 山 県	10.4	51.8	14.0	14.2	9.6	37.8	80.0

(3)出生数及び出生率の推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」

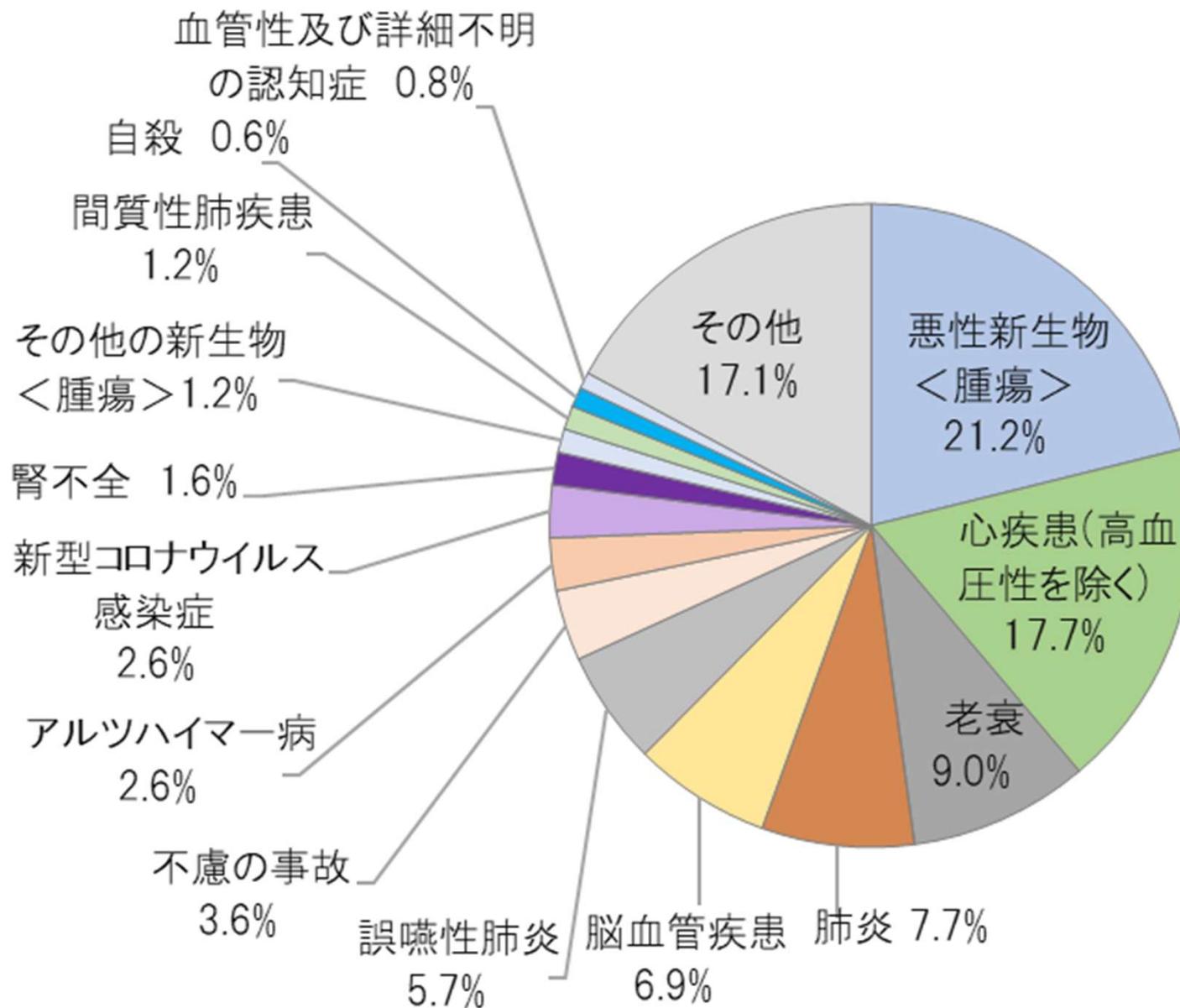
(4) 死亡数及び死亡率の推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」

(5)管内の主な死因別の割合

令和5年・死亡数1,097人



資料：厚生労働省「令和5(2023)年人口動態統計」

(6)管内病院施設数及び病院病床数

(令和7年10月1日現在)

単位：(床)

	病床数	一般病床	療養病床	病床機能		
				急性期	回復期	慢性期
大杉病院	53	53			53	
高梁中央病院	160	116	44	84		76
高梁市国民健康保険成羽病院	96	54	42		54	42
さきがけホスピタル	180 (精神病床)					
渡辺病院	88	55	33	55		33
長谷川記念病院	60	60		60		
新見中央病院	115	59	56	59		56
太田病院	56	56			56	

<参考>保健医療従事者

①医師、歯科医師、薬剤師数

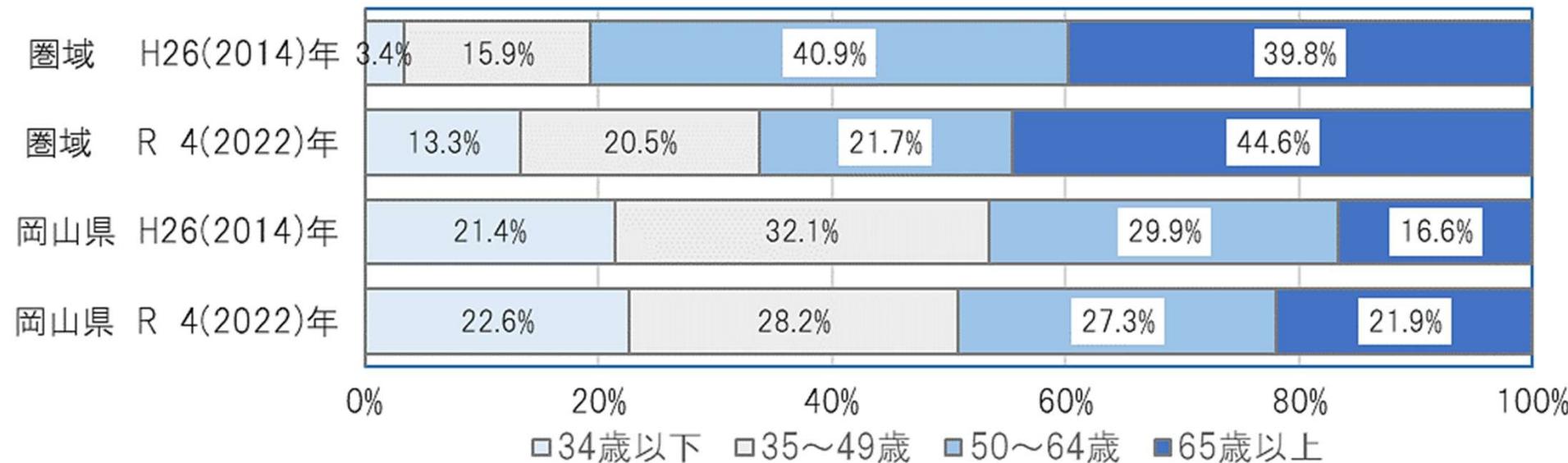
(各年12月31日現在)

区分	医師		歯科医師		薬剤師	
	人数(人)	人口 10万対	人数(人)	人口 10万対	人数(人)	人口 10万対
圏域	平成 26(2014)年	99	152.7	37	57.1	105
	令和 4(2022)年	101	185.9	34	62.6	97
岡山県	平成 26(2014)年	5,760	299.4	1,715	89.1	3,937
	令和 4(2022)年	6,271	336.8	1,764	94.7	4,245

資料：厚生労働省「平成26(2014)年 医師・歯科医師・薬剤師調査」、「令和4(2022)年 医師・歯科医師・薬剤師統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」

医療施設勤務医師の年齢構成割合

(令和4(2022)年12月31日現在)



資料：厚生労働省「平成26(2014)年 医師・歯科医師・薬剤師調査」、「令和4(2022)年 医師・歯科医師・薬剤師統計

②保健師・助産師・看護師・准看護師数

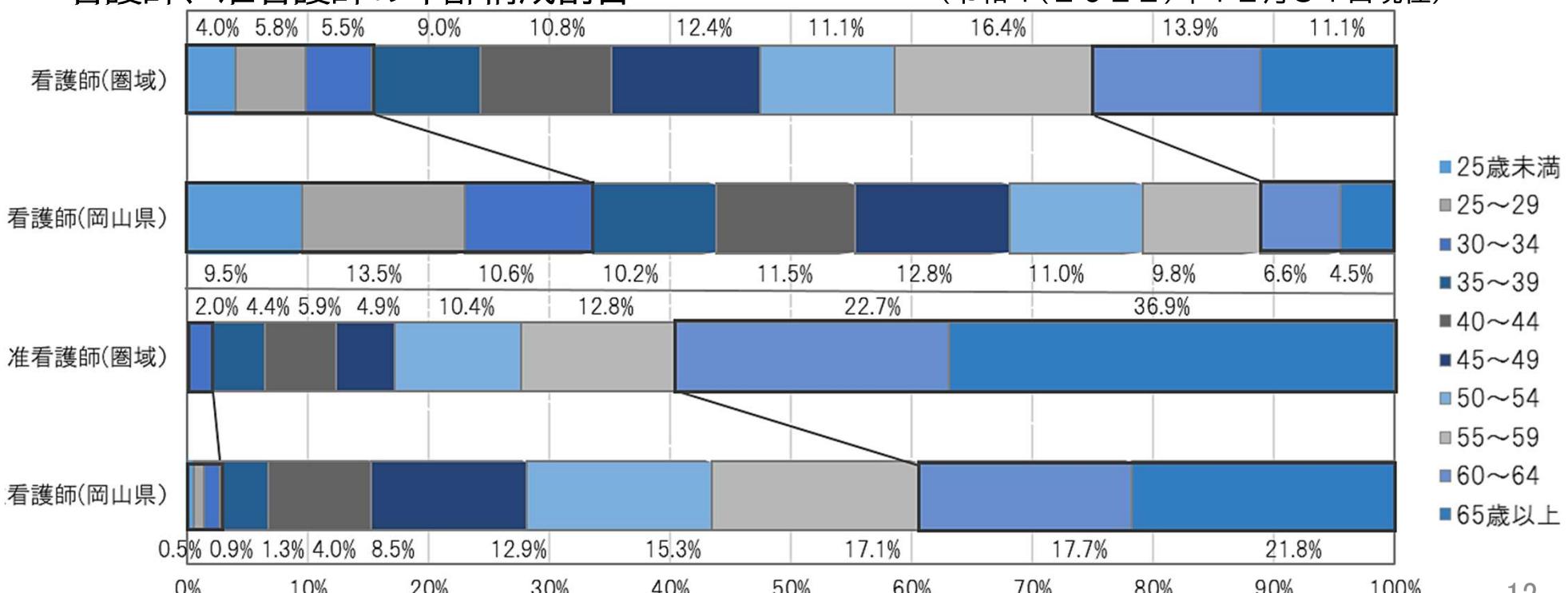
(各年12月31日現在)

		保健師		助産師		看護師		准看護師	
		人数(人)	人口 10万対	人数(人)	人口 10万対	人数(人)	人口 10万対	人数(人)	人口 10万対
圏域	平成 28(2016)年	69	111.6	10	16.2	574	928.5	264	427.0
	令和 4(2022)年	77	141.7	11	20.2	621	1,143.0	203	373.6
岡山県	平成 28(2016)年	974	50.9	517	27.0	22,563	1,178.0	4,828	252.1
	令和 4(2022)年	1,159	62.2	560	30.1	24,654	1,324.1	3,641	195.5

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」

看護師、准看護師の年齢構成割合

(令和4(2022)年12月31日現在)



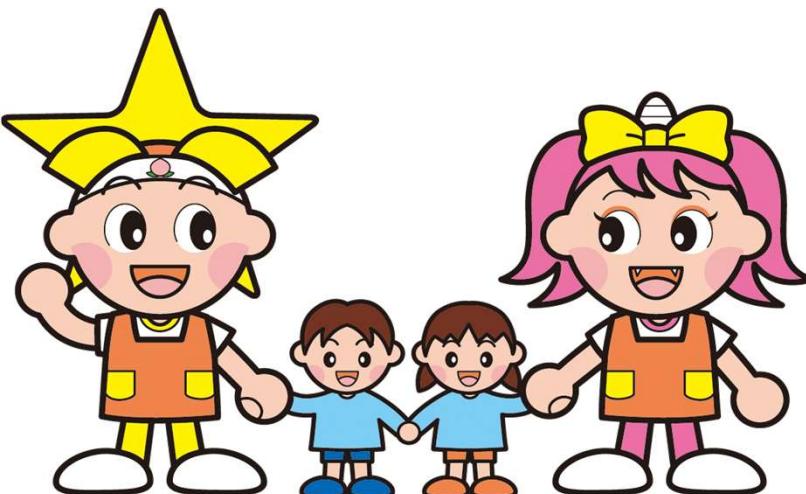
資料：令和4(2022)年保健師助産師看護師法第33条の規定による看護職員業務従事者届

令和7年度備北保健所の重点施策

基本方針

「第3次晴れの国おかやま生き活きプラン」及び「第2期おかやま創生総合戦略」に基づき、県政の基本目標である全ての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現に向け、喫緊の課題である人口減少問題を克服し、本県の持続的な発展に向けた確実な道筋を示すため、市町をはじめとする様々な主体と連携し、安心して暮らせる豊かな備中地域を目指して、保健、医療、福祉に関わる取組の一層の推進を図っていく。

以上の基本方針に沿って、令和7年度の備北保健所の重点施策を次のとおりとする。



令和7年度備北保健所の重点施策

- 1 地域における医療提供体制の整備
(地域包括ケアシステムの深化・推進)
- 2 心と体の健康づくりの推進
(障害のある人に対する支援)
- 3 子ども・子育て支援の充実強化
(切れ目のない母子保健の推進)
- 4 生活衛生及び医薬安全対策の推進等

1 地域における医療提供体制の整備 (地域包括ケアシステムの深化・推進)

第9次岡山県保健医療計画（高梁・新見圏域保健医療計画）の推進

総合的な体制の整備



保健医療対策協議会

地域医療構想の推進

医療機能の分化と連携の促進

過不足のない医療提供体制の構築



地域医療構想調整会議 及び サブワーキング

災害・救急医療体制の強化

関係機関相互の密接な連携

情報共有体制の強化



救急医療体制推進協議会・広域災害救急医療情報システム

地域医療介護連携の推進

- ・新見市在宅医療
・介護連携推進協議会
- ・新見地域医療ネットワーク
・在宅医療支援システム研究会（新見医師会）



- ・高梁市在宅医療
・介護連携推進協議会
- ・実務者部会
- ・高梁かんごねつと（高梁医師会）

(1) 第9次岡山県保健医療計画(高梁・新見圏域保健医療計画)の推進

■岡山県保健医療計画

- ・医療法第30条の4第1項に基づき、都道府県が策定する医療計画
- ・「第9次岡山県保健医療計画」は、令和6(2024)年度から令和11(2029)年度までの6年間の計画
- ・市町村においては、保健医療行政の計画的な推進のための指針となることを期待するもの
- ・本計画の中に、高梁・新見保健医療圏に関する「**地域保健医療計画**」を掲載
- ・当圏域の重点課題 (①へき地医療②在宅医療③心筋梗塞の医療④救急医療)

高梁・新見保健医療圏域内における総合的な保健医療体制の整備促進を図るため、関係者との協議を行った。

【実施状況】

ア 高梁・新見圏域保健医療対策協議会

開催日：令和7(2025)年7月3日（ハイブリット開催）

内 容：

- ・第9次岡山県保健医療計画の概要と重点課題について説明
- ・重点課題（心筋梗塞等の心血管疾患の医療、へき地医療及び在宅医療）に係る各関係機関の取組の共有

出席者：22人

イ 中山間地域における看護職員確保推進の体制整備事業

中山間地域の看護職員確保の取組を進めることを目的に、岡山県が岡山県看護協会に委託（令和6(2024)年度岡山県新規事業）

・令和6(2024)年度は高梁・新見医療圏域を中心

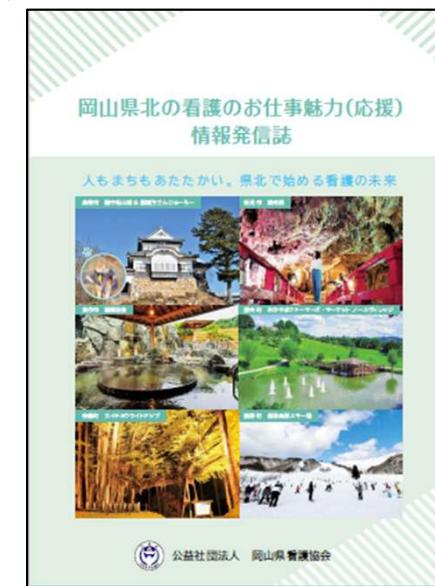
主な事業内容：

・看護職員確保推進実務者（若手看護職員サポートチーム）会議の開催

・高梁エリア、新見エリアの関係者による地域課題の共有、企画運営会議等の開催

・岡山県北における看護職員応援交流会の開催

・岡山県北の看護のお仕事魅力（応援）情報誌作成



岡山県北の看護のお仕事魅力(応援) 情報誌

(2) 地域医療構想の推進

■地域医療構想

【目的】

- ・さらなる今後の人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化や労働力人口の減少を見据え、質の高い医療を効率的に提供できる体制を構築。
- ・医療機関の機能分化・連携を**地域医療構想調整会議**で推進。

【内容】

① 2025年～2050年の医療需要と病床の必要量

- ・高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4機能ごとに医療需要と病床の必要量を推計
- ・在宅医療等の医療需要を推計
- ・都道府県内の構想区域（二次医療圏が基本）単位で推計

（二次医療圏）

一般の入院に係る医療を提供することが相当である単位として設定。

その際、以下の社会的条件を考慮。

- ・地理的条件等の自然的条件
- ・日常生活の需要の充足状況
- ・交通事情等

⇒高梁・新見保健医療圏



②議論する内容（地域医療構想策定ガイドラインより抜粋）

- ・地域の病院・有床診療所が担うべき病床機能及び病床数に関する協議
- ・病床機能報告制度による情報等の共有
- ・都道府県計画に盛り込む事業や地域医療構想の達成の推進に関する協議

高梁・新見保健医療圏域における医療提供体制を確保することを目的として、あるべき地域医療構想の実現に向けた関係者との協議及び調整を行った。

【実施状況】

ア 高梁・新見地域医療構想調整会議

開催日：第1回 令和7(2025)年7月3日（ハイブリット開催）

内容：・「新たな地域医療構想等に向けた動向について」行政説明
・サブワーキング（新見エリア）の概要報告及び各医療機関
における取組及び今後の方向性について共有

出席者：26人

※第2回を令和8(2026)年1月29日開催予定

イ 高梁・新見地域医療構想調整会議に係るサブワーキング（新見エリア）

開催日：令和7(2025)年5月2日（WEB会議）

内容：医療機関における病床機能の変更について

出席者：12人



高梁・新見地域医療構想調整会議

(3) 災害・救急医療体制の強化

圏域における関係機関相互の緊密な連携を通じて、救急医療体制の整備・推進を図ることを目的として、関係者との協議を行った。また、市、県の災害訓練にあわせて、圏域内の全病院を対象とした広域災害救急医療情報システム（以下「EMIS」という）入力訓練を行った。

【実施状況】

高梁・新見圏域救急医療体制推進協議会

開催日：令和7(2025)年8月7日（ハイブリット開催）

内 容：・令和6年度事業報告、令和7年度事業計画

EMIS入力訓練概要・結果報告、昨年度作成した「急性心筋梗塞の早期発見・早期治療」の啓発資料を活用した行政番組での周知検討

・救急医療の現状と課題、取組について各団体からの説明

出席者：16人



- 小児救急電話相談（#8000）
- 救急現場の現状
- 高梁市、新見市、新見消防本部の救急医療体制の取組について情報共有

(4) 地域医療介護連携の推進

要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送ることができるよう、市や医師会等と連携して医療介護を担う多職種・多機関の連携会議に保健所も参画。

情報共有の方法、連携の課題、研修や取組について多職種で協議。

保健医療計画の在宅医療等の課題取組協議

	多職種連携体制	主な取り組み
高梁市	高梁市在宅医療・介護連携推進協議会	地域医療・介護資源把握、課題の抽出 対応策検討、切れ目ない在宅医療提供体制の構築 医療介護関係者の情報共有・相談支援 関係者研修、地域への啓発、広域連携
	実務者部会	医療・介護の課題抽出、協議会の課題を具体化 研修会の企画運営
	高梁かんごねっと（高梁医師会）	看看連携体制の確立、人材確保と育成 その他在宅医療・介護連携に必要な事項
新見市	新見市在宅医療・介護連携推進協議会	医療介護連携事業の推進における方針を協議
	新見地域医療ネットワーク	課題の抽出と対応策検討 切れ目のない連携体制の構築 地域住民への啓発
	在宅医療支援システム研究会（新見医師会）	医療介護資源の把握、医療介護に関する相談支援 情報共有、知識習得研修等支援者の支援

2 心と体の健康づくりの推進 (障害のある人に対する支援)

体の健康づくり

たばこからの健康影響普及講座



健康づくりボランティアの組織育成

生活習慣病の予防・重症化予防の推進

- ・がん対策の推進
- ・糖尿病重症化予防対策
- ・給食施設管理者・従事者研修会の開催



心の健康づくり (精神障害者への対策)

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

地域移行・地域定着支援

ピアサポート支援

依存症対策

自殺予防対策

ひきこもり対策



地域移行支援連絡会議

感染症対策の推進

結核対策



新興感染症への備え



備北保健所
健康危機対処
計画の策定

高齢者施設・
保育所等への
感染症予防
研修

性感染症対策

難病対策の推進

特定医療費

医療福祉相談会

難病患者・家族の集い



災害時(要配慮者)の支援



(1) 体の健康づくり

ア 喫煙対策

①たばこからの健康影響普及講座

- ・若者からのたばこ対策として、小学生を対象に専門的知識を有する講師（薬剤師等）を派遣し出前講座を開催した。
- ・たばこの害や喫煙防止について知識の普及を図った。

実施校(令和6年度実績)

備北保健所	小学校3校 249人
新見支所	小学校3校 103人



小学校での様子

②受動喫煙対策

(令和6年度末累計)

	敷地内全面禁煙実施施設	屋内全面禁煙宣言施設
備北保健所	63施設	50施設
新見支所	70施設	45施設



イ 生活習慣病の予防と重症化予防の推進

①がん対策の推進

- ・愛育委員会と連携したがん検診の受診促進
- ・乳がん・子宮頸がん検診予防出前講座の開催

②糖尿病重症化予防対策等

各市データヘルス計画・健康増進計画に基づき以下の事業が連動して取組めるように市関係課・医師会・糖尿病学会担当医・岡山大学病院関係者と相談しながら推進

【令和6年度実績】

- | | | |
|----------------|-------|----|
| ・保健所国保ミーティング事業 | 備北保健所 | 2回 |
| | 新見支所 | 4回 |
| ・糖尿病予防戦略事業 | 備北保健所 | 5回 |
| | 新見支所 | 6回 |

③給食施設管理者・従事者研修会の開催

管内の給食施設が栄養のバランスを考えた衛生的な給食が提供できるよう管理者・従事者を対象とした研修会を実施

【令和6年度実績】

- | | | |
|---------|--------------|----|
| ・管理者研修会 | 備北保健所・新見支所合同 | 1回 |
| ・従事者研修会 | 備北保健所 | 1回 |
| | 新見支所 | 1回 |

ウ 健康づくりボランティアの組織育成

- ・がん検診受診勧奨、生活習慣病予防、食育の推進、子育て支援等、生涯にわたる健康づくりの推進を行う愛育委員、栄養委員と地域活動を協働で実施。

委員数（令和7年4月1日現在）

単位：人

	備北保健所	新見支所	計
愛育委員	622	515	1,137
栄養委員	119	306	425



健康づくり普及事業



愛育委員、栄養委員リーダー研修会 大学でのがん検診受診勧奨啓発活動

がん検診受診勧奨街頭活動

エ 食環境づくりの推進

令和6年度から食を通じた健康づくりに取り組む食品関連事業者等に協力を依頼し、個人の健康に対する関心の程度に関わらず、自然に健康な行動をとることができる環境づくりを推進した。

①おかやまからだ晴れ食センター登録事業

【令和6年度実績】

登録：本所 3施設



登録証（ステッカー）

登録申請の要件

- ①健康、食育情報を発信している
- ②野菜摂取量の増加に取り組んでいる
- ③減塩に取り組んでいる
- ④適切な量と質の食事の提供に取り組んでいる
いずれか1つ以上取り組む

②食環境づくり事業

健康増進を目的とした給食施設等における減塩の取組を支援した。

【令和6年度実績】

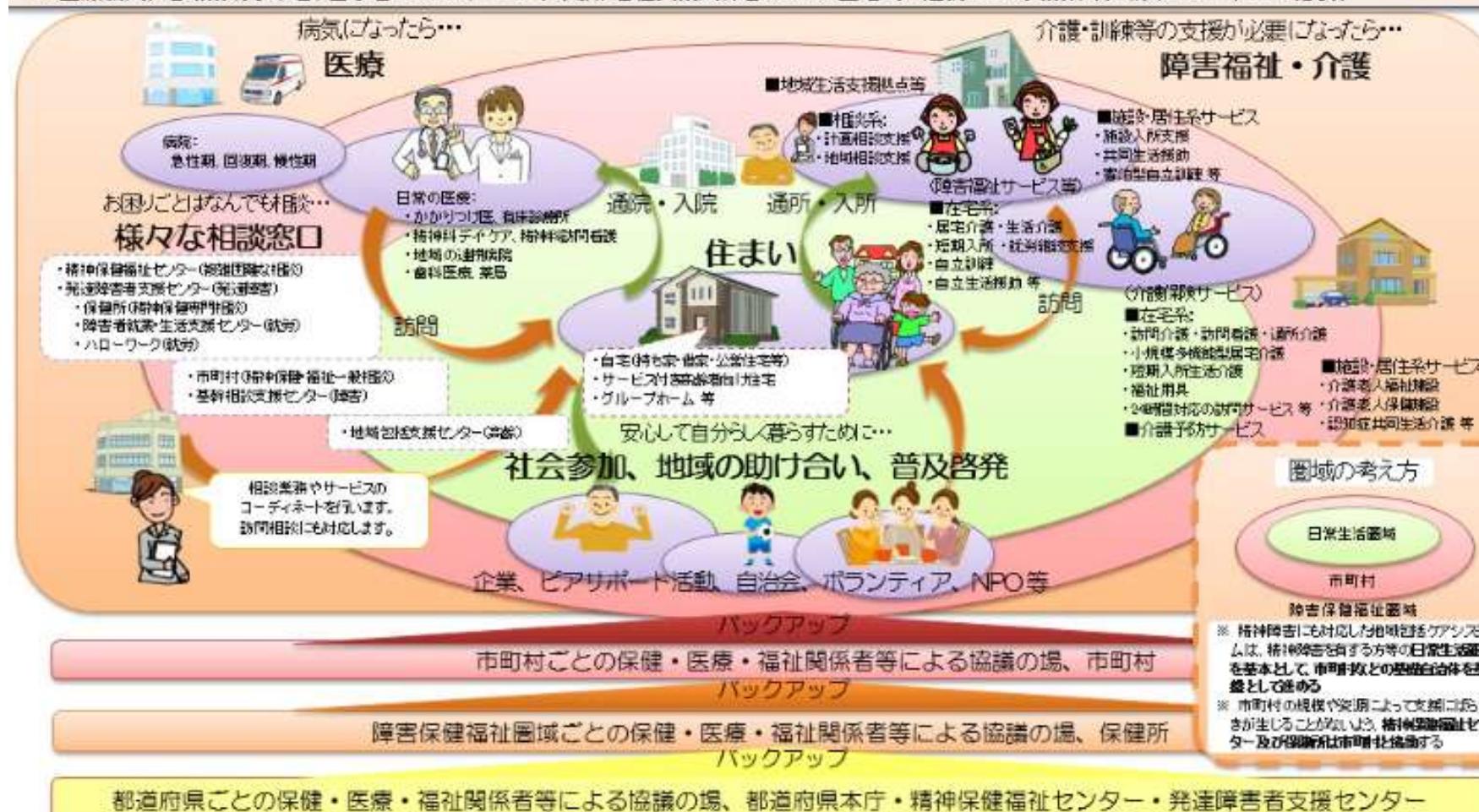
取組：本所 1施設

(2) 心の健康づくり（精神障害者対策）

ア 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築（イメージ）

- 精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療・障害福祉・介護・住まい・社会参加（就労など）、地域の助け合い・普及啓発（教育など）が包括的に確保された精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指す必要があり、同システムは地域共生社会の実現に向かっていく上では欠かせないものである。
- このような精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にあたっては、計画的に地域の基盤を整備するとともに、市町村や障害福祉・介護事業者が、精神障害の有無や程度によらず地域生活に関する相談に対応できるように、市町村ごとの保健・医療・福祉関係者等による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、当事者・ピアサポートー、家族、居住支援関係者などとの重層的な連携による支援体制を構築していくことが必要。



イ 精神障害者地域移行・地域定着支援事業

精神科病院等に入院する精神障害者の地域移行・地域定着を促進させるための支援体制を整備する。

①備北地域の地域移行支援連絡会議

内容：精神科病院への1年以上の長期入院をしている方の地域生活への移行を推進し、地域で安心・安全に暮らし続けるための支援体制整備について検討する。

全体会議（地域移行連絡会）2回、個別支援会議 4回
企画会議 2回

参加機関：さきがけホスピタル、高梁市、新見市、高梁市障害者総合相談センター、新見市障害者地域活動支援センターほほえみ広場にいみ、相談支援事業所やまぶき、備北保健所・新見支所



②備北保健所管内研修会(精神保健福祉活動)

開催回数：1回

内容：講話、グループワーク

参加者：高梁市健康づくり課

地域包括支援センター、備北保健所

③ピアサポート支援事業

内容：ピアサポートの交流、地域での活動計画協議、

住民、高・大学生への体験発表

ピアサポート登録者：7人（備北保健所1人、新見支所6人）

地域移行支援連絡会議

ウ ひきこもり対策事業

①予防支援事業

- ・ひきこもりサポーターの派遣（新見支所）

令和6年度実績 対象 5人 派遣回数 32回

- ・支援連絡会議等への参画 令和6年度実績 備北保健所 10回
新見支所 2回

②思春期相談 令和6年度実績 備北保健所 7回 延べ9人

新見支所 6回 延べ12人

③「にいみのすみっこでこれから可能性をひろげよう！」プロジェクト (令和6年度～)

- ・ボードゲームを通した楽しい安心できる居場所づくり

・・・次頁参照



エ 自殺予防対策

- ・ゲートキーパー養成講座の開催 令和6年度実績 備北保健所 1回
- ・自殺予防週間（9/10～16）、自殺対策強化月間（3月）を中心とした普及啓発活動の実施

オ 依存症対策

- ・支援者向け研修会 令和6年度実績 備北保健所 1回
- ・断酒会への参加 令和6年度実績 新見支所 2回
- ・リーフレット等を活用した一般住民に対する普及啓発活動

令和6年度～

にいみのすみっこでこれからの可能性を広げよう！プロジェクト



～ボードゲームを活用した、不登校、ひきこもり当事者の楽しく安心できる居場所づくり～

目的等

不登校からつながるひきこもりを予防する。

地域支援者が、「にいみのすみっこ」を社会資源として位置付け、支援に活用する。

楽しい居場所づくり

毎月
第4土曜日

「にいみのすみっこ」で、不登校児童生徒、ひきこもり者が、**楽しみながら安心して対人関係の場面に慣れ、社会参加のためのステップアップを目指す。**

(場 所) NiiU新見駅西サテライト

(参加者)不登校・ひきこもり当事者、

大学生ボランティア、ひきこもり
サポーター

(内 容)ボードゲームの実施

【参加者数累計：月1回開催】

	当事者				保護者	大学生等 ボラン ティア等
	小学生	中学生	高校生	無所属		
R6 (10月～3月)	6	14	0	5	15	47
R7 (4月～9月)	1	14	1	4	5	62

支援者ミーティング

年3回程度

- ①地域関係者がプロジェクトの概要を共有し、多機関連携を図る。
- ②「楽しい居場所づくり」の効果を検証する。



人材育成

- ①大学生ボランティアである「新見公立大学ボードゲームサークル」の学生に、不登校・ひきこもりに対する知識の普及啓発を行う。
- ②適宜、専門家によるアドバイスを行い、サポート意識の醸成を図る。



(3) 感染症対策の推進

ア 新興感染症への備え

- ①新興感染症対処計画（保健所版）の策定
- ②感染症患者等移送ネットワーク研修会
令和6年度実績 1回
- ③感染症の流行に備えた発熱外来や入院医療機関の病床確保
- ④高齢者施設を含む社会福祉施設等を対象とした感染症対策研修会

令和6年度実績 備北保健所 1回
新見支所 1回

健康危機対処計画（感染症編）

令和6年12月
岡山県備北保健所

健康危機対処計画



感染症患者等移送ネットワーク研修会



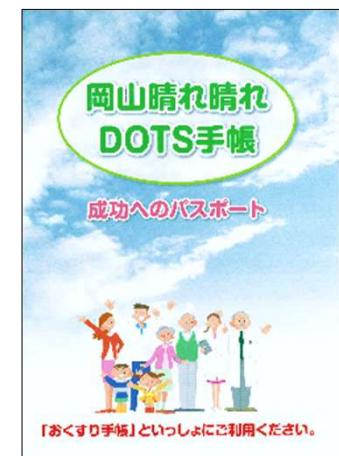
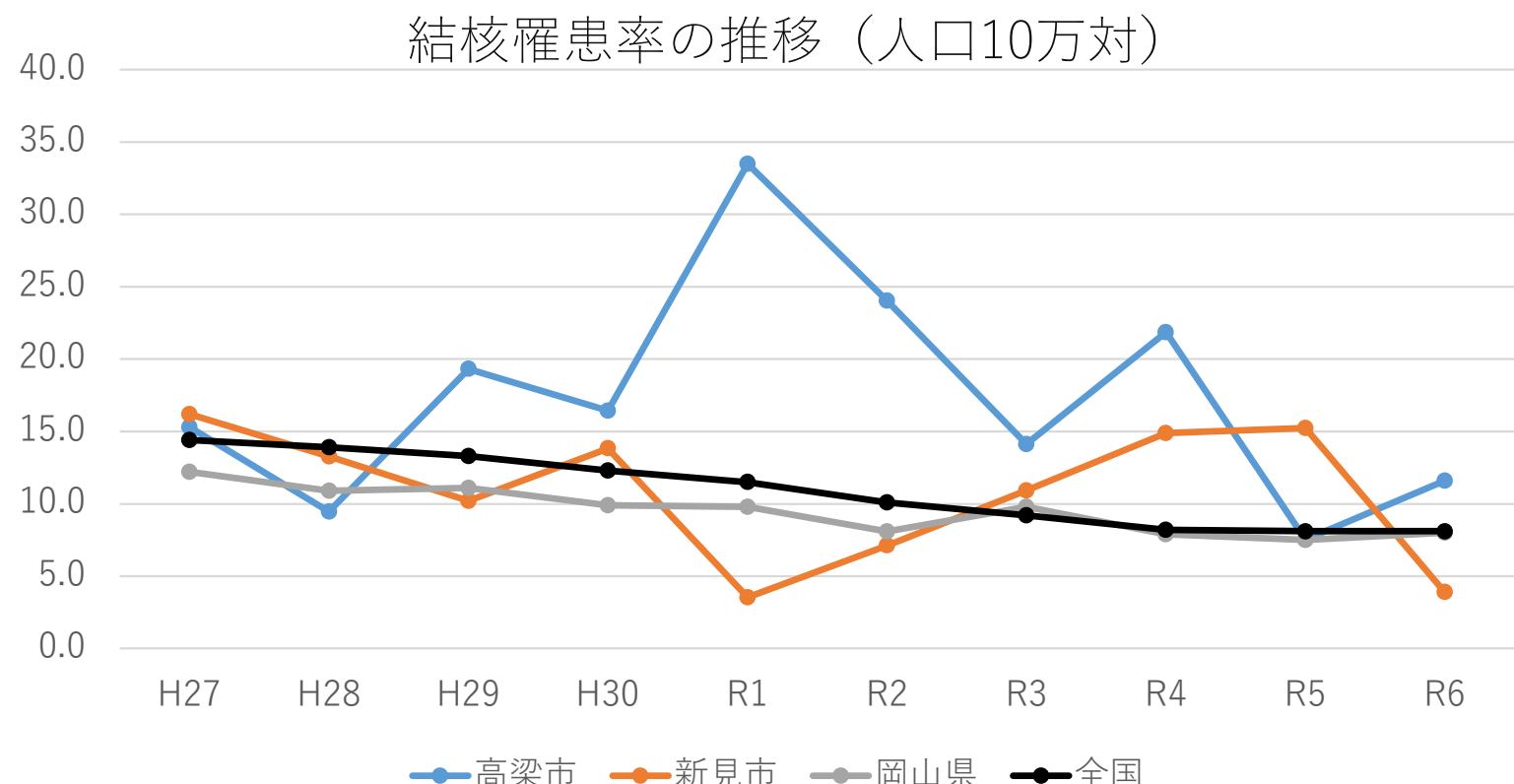
社会福祉施設等を対象とした感染症対策研修会

イ 結核対策

我が国の結核患者数は減少傾向にあり、令和6年の人口10万対の結核罹患率は、全国8.1（前年8.1）、岡山県8.0（前年7.4）、高梁市11.6（前年7.5）、新見市3.9（前年15.2）となっている。

令和6年 新規登録患者数 備北保健所 3人 新見支所 1人

保健所では、結核患者の再発及び薬剤耐性菌の出現を防止するため、確実に、治療を完了できるよう、医療機関、薬局等と連携した支援を行っている。



服薬支援手帳

ウ 性感染症対策

令和6年度

	備北保健所	新見支所
エイズ等出前講座	5校 184人	2校 86人
世界エイズデーキャンペーン	11月28日、11月29日、12月4日	12月中
電話・来所相談	23件	14件
HIV検査	5件	4件
性感染症検査	5件	4件
肝炎ウイルス検査	5件	3件

エ 感染症発生状況

令和6年

感染症分類	備北保健所	新見支所
二類	結核 3件	結核 1件
三類	腸管出血性大腸菌感染症 1件	腸管出血性大腸菌感染症 1件
四類	レジオネラ症 2件 日本紅斑熱 1件	0件
五類	梅毒 2件	侵襲性肺炎球菌感染症 1件

(4) 難病対策の推進

ア 難病患者の療養支援

①特定医療費及び特定疾患治療研究事業

難病のうち、341の特定疾患、788の小児慢性特定疾病に対して医療費の公費負担制度があり、医療費等の自己負担の軽減を行っている。特定疾患治療研究事業としては4疾患（特定疾患）を助成対象としている。

令和7年3月31日時点

	備北保健所	新見支所
特定医療費（指定難病）受給者数	303人	278人
特定疾患治療研究事業受給者数	1人	0人

②医療福祉相談会（備北保健所）

療養生活上の不安が緩和され、療養生活の質が向上されるよう専門医等により個別相談を開催している。

開催日	令和6年10月15日実施
参加者	患者2名、家族1名
内容	医師、理学療法士、社会福祉士等による相談を実施。
成果	・自宅でできる具体的なリハビリについて教えてもらうことができた。 ・病気の経過や生活で困っていることを聞いてもらえ、療養生活を支える家族もこれまでの関わりについて自信をもつことができた。



難病患者・家族の集い

③難病患者・家族の集い（備北保健所、新見支所）

在宅難病患者・家族のQOL向上及び交流を目的に患者・家族・管内関係者等による集いを開催している。

○備北保健所

開催日	令和6年11月27日
参加者	患者6人、家族1人
内容	講演会（薬の飲み方と飲み合わせについて）・アロマクリーム作り・ミニ座談会

○新見支所

開催日	令和6年11月26日
参加者	患者5人、家族5人
内容	講演会（自宅で転ばないために）・ストレッチ体操・座談会

イ 災害時（要配慮者）の支援

令和6年度実績

	備北保健所	新見支所
面接	392件	222件
家庭訪問	16件	19件
要配慮者リスト 登録者数	13人	9人
連絡会議	2回	0回

ニーズ・必要性の把握

本人・家族の状況把握・支援の検討

リスト・支援計画の作成

情報共有

- 各市では、要支援者に対し個別避難計画を策定している。
- 保健所では、災害時における難病患者等行動支援マニュアルに基づき医療機器を利用している重度の難病患者を中心に支援リストの作成や支援計画の作成を関係者と行っている。

3 子ども・子育て支援の充実強化 (切れ目のない母子保健の推進)

切れ目のない母子保健の推進

若い世代への正しい知識の普及啓発



未来のパパ&ママ講座

- ・母子保健評価事業
- ・産科・小児科・精神科との連携
- ・産後ケア事業地域連絡会議の開催

関係機関・団体相互の連携強化

子どもの健全な発育発達のための 体制づくり

子どものすこやか 発達支援事業 (専門相談) の実施

自立支援協議会 就学への支援

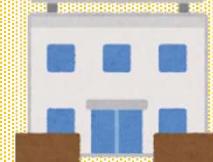
医療的ケア児への支援

子ども・子育て支援 ・体制整備



子ども家庭センターの運営・設置支援

児童相談所

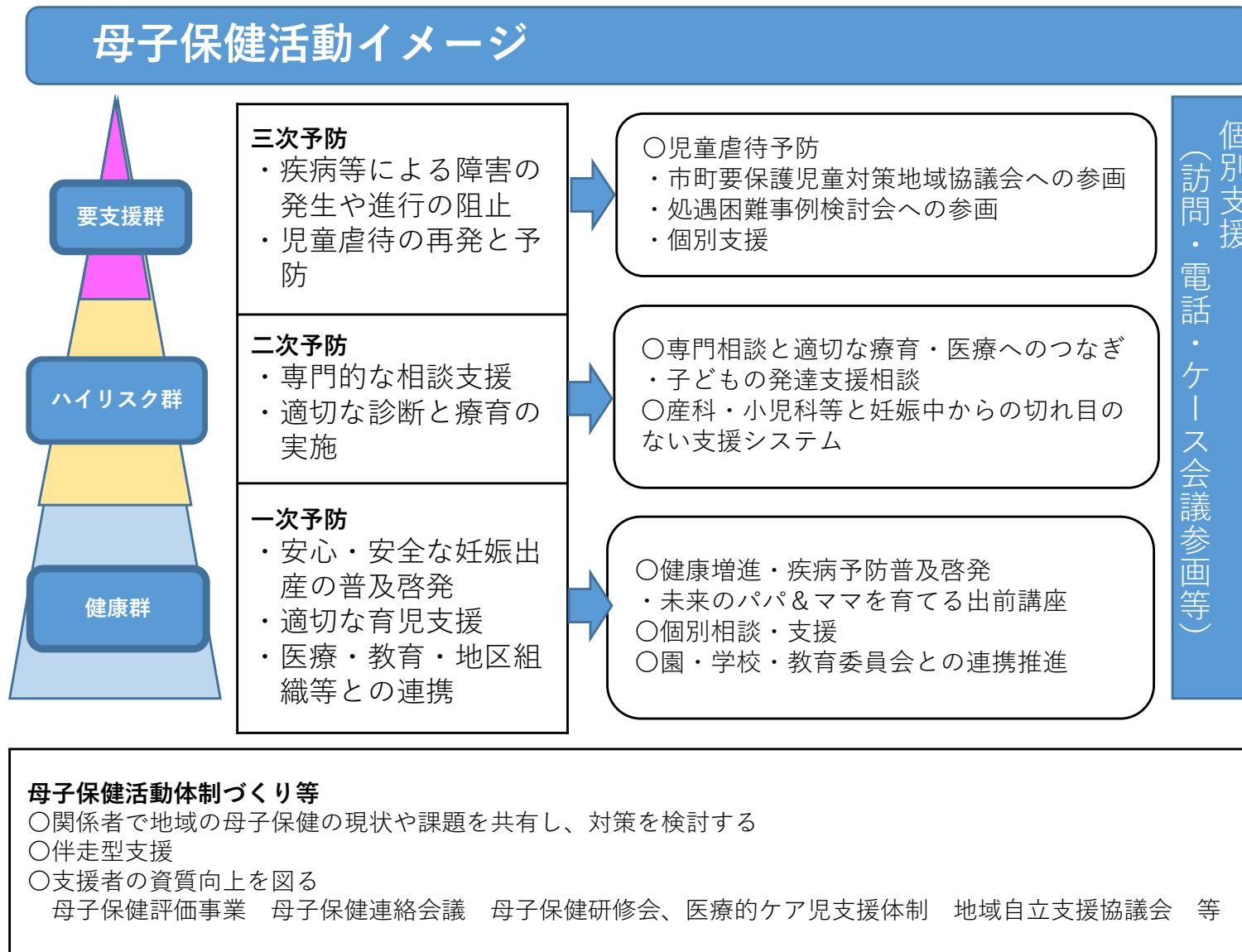


児童虐待防止

要保護児童地域対策協議会代表者・実務者・ケース会議への参画
ハイリスク母子の把握と関係課（保健と福祉・医療）の連携支援

困難を抱えた子どもや家庭への支援

(1) 切れ目のない母子保健の推進



ア 未来のパパ＆ママを育てる出前講座

中高生を対象に、妊娠性をはじめ、妊娠・出産に関する正しい知識を普及する。

令和6年度 実施回数・人数

備北保健所	新見支所
2回実施 (208人)	2回実施 (372人)



イ 母子保健評価事業等

県内市町村のデータを用いて、各市の母子保健の取組状況を評価している。妊娠期から出産後もすべての子どもがすこやかに育つため母子保健の取組を検討した。

母子保健連絡会議 令和6年度実績 備北保健所 2回 新見支所 3回

ウ 高梁・新見保健医療圏域の妊産婦の支援に係る情報交換会【令和6年度】

- 目的 高梁・新見医療圏域の周産期からの切れ目のない支援について現状と課題を共有し課題解決を図るための取組につなげる。
- 参加機関 高梁市、新見市、管内産科医療機関、管外産科医療機関・助産所（産後ケアを契約している機関）、その他産後ケアに関わる関係者
- 主な内容
 - ・妊娠出産の現状、産後ケア実態調査の結果分析報告
 - ・課題、解決策の検討



- ・産後ケアの利用が少ないので普及啓発を工夫する必要がある。
- ・低出生体重児、ハイリスク家庭や外国籍家庭の産後ケア導入には配慮が必要となる。
- ・（事業者側）産後ケアの利用契約は市町村によって異なっており、手続きがわかりにくい。

新) 令和7年度高梁・新見地域における おかやま妊娠・出産・子育て安心サポート地域協議会(案)

【目的】

地域の妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援体制の構築に向け、妊娠・出産・子育てに関する情報・課題の共有、意見交換を行うとともに、地域の課題解決に向けた取組や、より充実した体制づくりのあり方について協議する。

【委員】

管内医師会、産科医療機関、子育て当事者、行政関係者

妊娠・出産・子育て中の方、関係者の意見をお聞きし、必要な資源や支援を検討します。

【内容】

- ・管内の妊娠・出産・子育て中の保護者の意見等について
- ・実態調査の実施
- ・地域の現状、課題の整理
- ・解決策の検討



(2) 子どもの健全な発育発達のための体制づくり

子どもの心と体の健やかな発達支援や児童虐待の発生予防など市の母子保健事業への支援や支援体制づくりを推進した。

子どものすこやか発達支援相談（子どもの心とからだの総合相談）

目的：発達の遅れや障害の疑い等がある児を対象に、小児科医、臨床心理士、保健師等による相談・指導を行い、子どもの適切な発育を促すとともに育児の負担等により生じる児童虐待を未然に防ぐ。

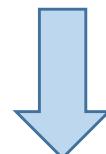
■ 令和6年度 相談件数

	備北保健所	新見支所
開催回数	11	6
相談者数（延）	28(28)	16 (16)

■ 令和6年度 主な相談内容

- ・言葉の遅れ
- ・落ち着きがない
- ・こだわりがある
- ・切りかえが苦手
- ・就学に向けた準備 など

新見支所
備北保健所



市、医療、療育機関、保育・教育機関等が連携した支援



(3) 困難を抱えた子どもや家庭への支援

ア 児童虐待防止 地域支援システム構築に向けた連携会議への参画

- ① 市・児童相談所・所属機関と連携した家庭訪問・相談支援
- ② 市要保護児童対策地域協議会 代表者会議への参画
実務者会議への参画
ケース会議への参画

備中県民局管内要保護児童対策地域協議会連絡会議及び
岡山県子ども虐待防止専門本部備中地域支部全体会議への参画



イ 医療的ケア児・小児慢性特定疾病・低出生体重児への支援

- ① 医療的ケア児 高梁市2人 新見市5人（令和6年度末現在）
(胃ろうや経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児)
- ② 小児慢性特定疾病申請者数 本所8人 支所17人（令和6年度末現在）
(内分泌疾患9人 悪性新生物4人 神経・筋疾患3人等)
- ③ 低出生体重児（2,500g未満で出生）出生数（令和5年）11人

福祉型児童発達支援センター、児童発達支援事業所、訪問看護ステーション、主治医、市内医療機関等と連携しながら、必要な医療やリハビリを受けられるよう支援したり、こども園等と連携し子どもの健やかな成長発達と保護者の支援を行っている。

4 生活衛生及び医薬安全対策の推進等

食の安全・安心の推進



食品関係施設への監視や
収去検査の実施

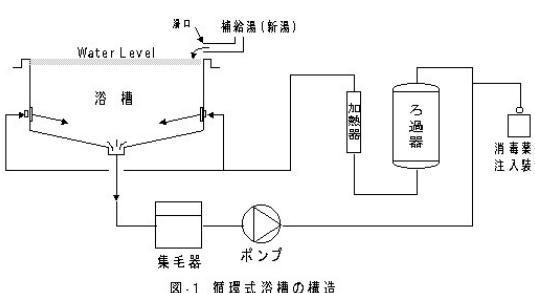


衛生教育

生活衛生対策の推進

理・美容所、クリーニング所、
公衆浴場における衛生管理

レジオネラ対策の実施



入浴施設における浴槽水の
水質検査

医薬品等の安全確保 対策の推進

薬物乱用キャンペーンの実施



(1) 食の安全・安心の推進

「岡山県食品衛生監視指導計画」に基づき、

(1) 監視指導

(2) 試験検査

(3) HACCP (ハサップ) の推進

(4) 食の安全相談窓口への対応 (5) 衛生教育

◆令和6年度実績

(1)監視指導	施設数	監視件数
許可施設	919	537
届出施設	605	137

(2)試験検査	実施件数	内容
収去検査	237	食品添加物 残留農薬 等



●食中毒発生状況
0件

(3) HACCP (ハサップ) の推進

HACCPによる管理の例

原材料

↓ 受入検査・記録

調合

↓ 調合比率の確認・記録

充填

↓ 温度、充填量の確認・記録

密封

↓ 密封性の確認・記録

熱処理

重要管理点(CCP)

↓ 殺菌温度／時間を連続的に監視



冷却

↓ 水質、水温の確認・記録

包装

↓ 衝撃、温度の確認・記録

出荷

出典：厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/haccp/index.html

HACCPによる衛生管理方法は、事業者の規模や形態に応じて、次のいずれかの取組みが求められます。

下記で詳しく説明

1 HACCPに基づく衛生管理

HACCPの7原則に基づき、個々の施設で使用する原材料や製造方法等に応じた計画を作成し、記録を行う。

一定の従業員や組織を持つ大規模事業者、と畜場など

2 HACCPの考え方を取り入れた衛生管理

各業界団体が作成した「業種別手引書」を参考に、一般的衛生管理を基本として計画を作成し、簡単な記録を行う。

小規模事業者、提供する食品の種類が多く変更が頻繁な飲食店などの業種



出典：岡山県ホームページ
<https://www.pref.okayama.jp/page/detail-3212.html>

◆令和6年度実績

(4)相談件数	217
(5)衛生講習会	27回 (497名 受講)

【消費者から】
例) おもちにカビ
【営業者から】
例) 金属異物混入
【営業許可関係】
【食中毒疑い】



(2) 生活衛生対策の推進

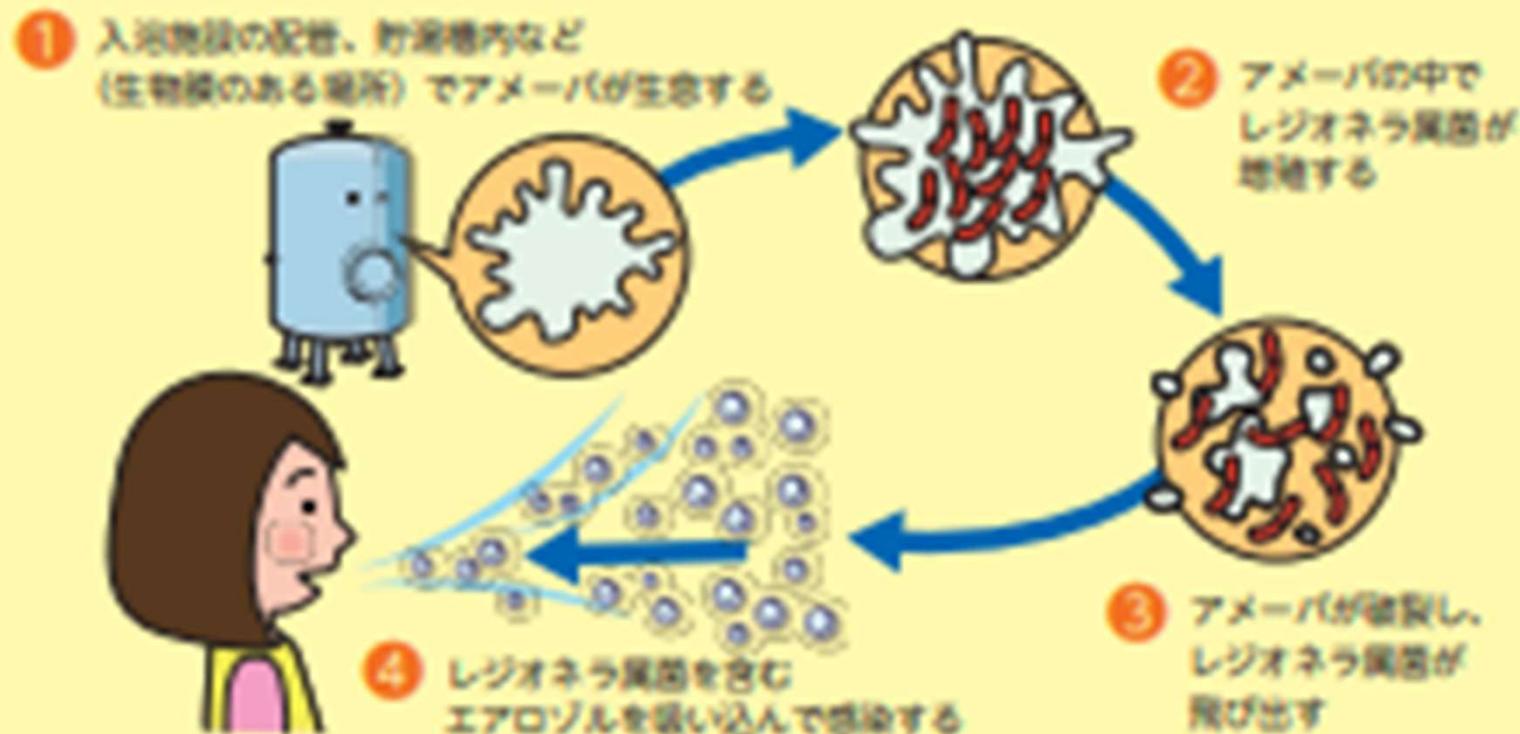
- (1) 理・美容所、クリーニング所、公衆浴場等における衛生管理の徹底
- (2) 入浴施設におけるレジオネラ症発生防止対策

◆令和6年度実績

監視指導	理容所	美容所	クリーニング所	旅館	公衆浴場
施設数	88	130	28	55	9
監視件数	32	50	12	30	12

レジオネラ症発生防止対策	施設数
浴槽水の水質検査	7 (2)

() : 旅館・公浴両方の許可保有内数



～レジオネラ症発生対策 3 原則～

- 増殖させない（浴槽水の換水及び消毒を徹底しましょう）
- 発生させない（生物膜を発生させないように清掃・消毒を徹底しましょう）
- 吸いませない（エアロゾルを形成しやすく、かつ肺に吸引する機会が多い、循環式浴槽、打たせ湯、シャワーなどについては特に注意しましょう）

出典：厚生労働省パンフレット

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/001401868.pdf>

(3) 医薬品等の安全確保対策の推進

(1) 薬局、毒物劇物販売業等の監視指導

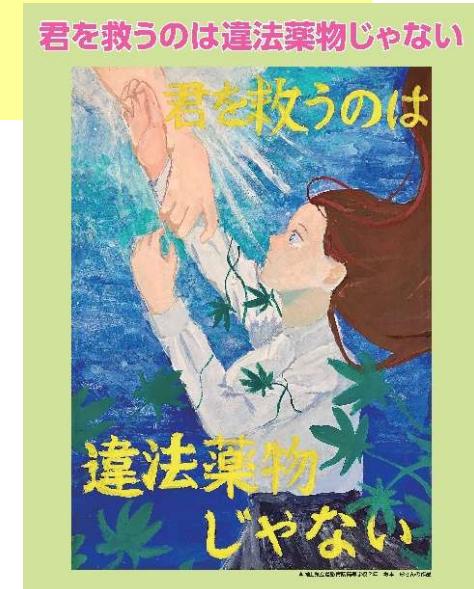
(2) 薬物乱用防止対策（普及啓発）

- ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動キャンペーン
- ・薬物乱用防止教室

◆令和6年度実績

監視指導		施設数	監視件数
医薬品 関係	薬局	21	22
	薬局製造業	1	1
	薬局製造販売業	1	1
	店舗販売業等	16	16
毒物劇物販売業		57	43

薬物乱用防止教室	18回 (745名受講)
----------	-----------------



薬物乱用防止キャンペーン



◆令和6年度実績

地区	配布場所	配布資料
高梁	高梁高校、高梁城南高校、方谷學舎高等学校	780
新見	岡山県共生高校、新見高校	560

薬物乱用防止啓発アニメ 「何で、こんなことに」

- ・岡山県立高梁城南高校漫画同好会が制作
 - ・専門家の講演などにより薬物乱用の実態について理解を深めながら、生徒自身がストーリーを考え、キャラクター設定、作画、録音、編集など行い完成
 - ・保健所ホームページで公開中

<https://www.pref.okayama.jp/page/993704.html>



ようこそ岡山へ

岡山県
Okayama Prefecture

日本語 | English | 安心・安全なホームページ | お問い合わせ | お問い合わせ/お問い合わせ | お問い合わせ

サイト内検索 | Google 検索 | 検索 | ページ数: 1 頃 | リンク

日程案内 | 分野でさがす | 男女 | 地図 | カレンダーでさがす

トップページ > 健康でさがす > 健康保健 > 健康保健 > 【公開！薬物乱用防止啓発アニメ】岡山県立高梁城南高等学校 漫画研究同好会が作りました！！

健康保健 > 【公開！薬物乱用防止啓発アニメ】岡山県立高梁城南高等学校 漫画研究同好会が作りました！！

【公開！薬物乱用防止啓発アニメ】岡山県立高梁城南高等学校 漫画研究同好会が作りました！！

公開ページ表示 ページ番号: 0993704 2025年10月12日更新/最終更新

TOP ニュース ニュース一覧 ニュース一覧



QRコード

こちらのQRコードを読み取ると、動画サイトを開くことができます。

【あらすじ】

中学生たちの誰もくんが薬物乱用に来ていいい。

同じクラスの田中くんは、ふとしたことから、誰もくんと手を握り合うようになってしまったことを恥にしていた。

田中くんは誰もくんは……



誰もくん
何でこんなことになっている？



田中くん
誰もくんと手を握り合っているなって思ってた



かわいがる
田中くんは誰もくんに恥じてた

なぜこの活動をした？